

いよいよ
元気に活動中



日本郵政グループ労組
退職者の会
会長 山本 十三

郵政民営化を受け、全通・全郵政の両
労組が組織統合し、2007年10月に
「JP労組」が誕生しました。

それ以降、退職者組合にあっても、統
一の話し合いが続けられ、ようやく昨年
のJP労組第6回定期全国大会で新たな
退職者組織に移行することが組織決定さ
れました。

中央・地方・各地区連協、支部（県下
6支部）それぞれに設立準備委員会を立
ち上げ、設立総会を経て、滋賀におい
ても「郵政退職者会滋賀通友会」「郵政ユニ
オンクラブ滋賀」が『日本郵政グループ

労働組合滋賀連協退職者の会』（会員4
00名）として新しい第一歩を踏み出し
ました。

8月4日の連合滋賀高退協第2回幹
事会に組織改編の報告を行い承認され
ました。

JP労組退職者の会は、「心をひとつ
に」融和と信頼、会員拡大が重要な課題
です。また、連合高退協の一員として年
金・医療をはじめとする社会保障制度の
充実を求めるとともに、戦争のない平和
で豊かな日本をめざして頑張ります。
一層のご鞭撻とご指導をよろしく願
いします。

コラム

鉄道退職者の会
那須 善行



8月6日広島原爆から69年のこの日
私たちの幹事会において、連合・原水禁・
KAKKINなど3団体による「核兵器廃絶」
を求める1000万署名に取り組むことを決
議しました。退職者連合だけでも150万署
名を目標としています。

各自が心をこめて、一筆一筆署名するこ
とによってより大きな声となります。過日
の知事選も安倍内閣の回帰路線の流れに
マッタをかける決意で私たち高齢者とし
ても懸命に取り組みました。だから全国の
同志に勇気を与えたと思うのです。

今回の署名運動は、「核兵器を「造らない」
「持たない」「持ち込まない」3原則を守
るとともに、唯一の被爆国として日本国と
国連に届けるために行うものです。さら
に言えば、安倍内閣は「原発」の再稼働、原

発技術の輸出など、福島原発事故の反省
もなく突き進んでいます。これが私た
ちの命と暮らしを脅かし核兵器へと進む
ことは、歴史が証明しているともいえま
す。道のりは遠くともこの一歩から現政
権が進めている戦前への回帰的施策をス
トップする活動を進めようと切に願っ
ています。

戦争は、「今」すぐでなく「明日」から
でもない、アノ首相の一言一句からジワ
ジワとやってくる。気がつけばこの命を
アノ総理に預ける状況になってくること
を何よりも恐れるのです。

私たちは、「子」や「孫」を戦場へは送
らないことを、戦争を経験した世代とし
ての責任として活動しようではありませんか。

リフレッシュ滋賀

第44号 2014.11.
発行所:連合滋賀 高退協
発行責任者:吉川 浩次
編集責任者:山崎 長栄
大津市松本2-10-6
TEL 077-523-0500
FAX 077-523-5600

「2014 滋賀県高齢者集会」を開催
「集団的自衛権」をめぐる問題点について学習

2014年10月11日（土）滋賀ビルにおいて、各組織から88名が参加し、「2014 滋賀
県高齢者集会」を開催しました。

今回は、「集団的自衛権の行使について」をテ
ーマに、民主党滋賀県第4区総支部長の徳永久
志氏を講師に迎えて講演をいただきました。

徳永氏からは、「個別的自衛権」、「集団的自衛
権」に関する整理を踏まえ、国の安全保障につ
いて詳しく説明をいただきました。

「本年7月1日に、他国への攻撃に自衛隊が
反撃する集団的自衛権の行使を認めるために、
憲法解釈を変える閣議決定がされ、この閣議決
定は、海外での武力行使を禁じた憲法9条の趣
旨の根幹を読み替える解釈改憲であること。」

「政府は1954年の自衛隊発足以来、自国
を守る個別的自衛権の武力行使に限って認めて
きたが、閣議決定された政府見解では、日本が
武力を使う条件となること。」



「新3要件を満たせば、個別的、集団的自衛
権と集団安全保障の3種類の武力行使が憲法上
可能とすること。」など、新3要件のベースとさ
れている1972年の政府見解の結論は、「集団
的自衛権の行使は憲法上許されない」というも
のであり、これまでの政府の見解を転換するも
のであると説明がありました。

集会最後では、国民に対する十分な説明なし
に時の政権が便宜的、意図的に本質的な解釈変
更を行うことは立憲主義に反し認められないこ
を確認し団結ガンバロウで終わりました。

講演のあとに行った懇親会では、それぞれの
組織相互でにぎやかに交流を深めることがで
きました。



ホールインワン続出！！ 第7回グラウンドゴルフ大会を開催！



【主催者挨拶をされる吉川会長】

連合滋賀高退協第7回グラウンドゴルフ大会（後援：連合滋賀、労福協、近畿労働金庫、全労済、住宅生協）を9月3日(水)に竜王町総合運動公園・ドラゴンハットにて開催しました。

グラウンドゴルフ大会は今年で7回目の開催となり高退協の組織間・会員間の交流を深める恒例行事となっています。7度目の今年は清々しい青空の下、熱い戦いが繰り広げられ、参加者の皆さんは昨年を上回る好成績をたたき出しました。

今回は8組織、83名（男性69名、女性14名）が参加し、汗ばむ気温の中、和気あいあいに一喜一憂しつつプレーを楽しみ、ホールインワンやナイスプレーが出た際には歓声があがりました。

プレーの結果は、男子優勝はJAM滋賀シニアクラブの山口 憲昭さん、女子優勝はダイハツ阜月会の酒井 弘子さんに輝きました。

また、「ホールインワン賞」は、33名の方が獲得されました。

最後に今年も後援を頂いた各事業団体をはじめ、関係者、参加者の皆さんの協力を得て成功裏に大会を終えることができましたこと、感謝申し上げます。



【グラウンドゴルフ プレー風景】

【連合滋賀高退協第7回グラウンドゴルフ大会結果】

【男子の部】 得点が同数の場合は、①ホールインワンの数、②2打の数が多し順に上位となる

順位	氏名	合計	ホールインワン数	得点	所属名
1	山口 憲昭	80	2	74	JAM滋賀シニアクラブ
2	森川 保	79	1	76	ダイハツ阜月会
3	増田 忠士	81	1	78	ダイハツ阜月会
4	藤田 徳重	85	2	79	NTT労組退職者の会
5	長谷川宗男	82	1	79	滋賀県退職教職員協議会

【女子の部】

順位	氏名	合計	ホールインワン数	得点	所属名
1	酒井 弘子	83	1	80	ダイハツ阜月会
2	山際 朱實	93	3	84	UAゼンセンシニア友の会
3	倉田 明美	89	1	86	NTT労組退職者の会
4	山田イツ子	93	2	87	UAゼンセンシニア友の会
5	三輪まさ江	90	1	87	全印刷局労働組合退職者の会

*ホールインワン賞33名（男性24名、女性9名）

京都の秋を楽しもう 京都宝ヶ池ハイキング

連合近畿ブロック高齢・退職者連絡会が持ち回りで開催している秋のハイキングを、今年は10月29日(水)に京都市において、前年を上回る総勢1,440名（内80歳以上184名）で開催されました。

毎年のこのハイキングは、高齢・退職者の健康維持、増進と近畿の仲間との交

流を深めることを目的として開催されており、連合滋賀からも85名（内80歳以上9名）が参加しました。

当日は、秋晴れに恵まれ、汗ばむ陽気のもと、京都宝ヶ池公園をスタートし、国際会館庭園や菖蒲池などを散策し、健脚の方は、京都府立植物園まで歩きました。

安全かつ軽快に楽しむことができ、また、互いの交流も深め合うことができた楽しい一日となりました。

来年は、和歌山県です。また、一緒に心地よい汗を流しましょう。

